

地域を支える直売所の新たな挑戦！  
店長候補者を募集



「赤村特産物センター」（直売所）の店長候補を募集します。給与は25万円～30万円。勤務時間は7時～18時の間でのシフト勤務（1日：6時間45分）です。

福岡県赤村は県内で唯一の「有機農業推進モデルタウン」にも選ばれており、特産物センターは、この地域の農業者とコミュニティを支える重要な直売所です。そんな特産物センターの継続的な運営と、わたしたちの「新たな挑戦」に協力してくださる人材を募集します！

求める人材は、スーパーマーケット・道の駅・直売所などの小売業経験者がある方、もしくは一般企業での管理職経験や協議会等でのマネジメント経験がある方。地域住民や農家さんと、たっぷりとコミュニケーションを取りながら働けるお仕事になります。40代、50代以上の方も大歓迎です。ご応募お待ちしております。

なお、勤務にあたっては、「地域おこし協力隊」として役場の任期付き職員（会計年度任用職員）となります。詳しくは募集要項をご覧ください。

## <店舗のご紹介と募集の背景>

特産物センターは、自然豊かな赤村の農産物直売所です。有機栽培、無農薬、減農薬で栽培された野菜も販売しており、果物、花、米、精肉など赤村で採れた季節の農作物が所狭しと並んでいます。梅干し、漬物、味噌などの手作り加工品も多く、完熟有機トマトケチャップなど村内でつくられた人気の商品も多数あります。

店舗には、もちやパンの製造所も併設しており、作りたてを味わうことができます。ホテルが舞うきれいな水で育まれた餅米で作られたおもちは、正月用のお鏡としても好評をいただいております。年末になると村内外から注文が殺到します。また、併設する食堂「とことん」では季節の食材たっぷりの「ばっちゃんカレー」も人気です。

直売所ですので、毎朝、村内の農業者が直接、野菜を出荷していただきます。平日は地元の方が日々の買い物に、休日には近隣の都市部からの新鮮な野菜を求めてお客様がいらっしゃいます。

しかし、最近では、地元で野菜を作ってくださる農業者の高齢化が進み、出荷される農産物が減ってきています。そのため、お客様が買い物にきてくださっても、1日の終わりには品物が少なくなってしまうという課題を抱えています。その反面、出荷調整が難しく、時期によっては一部商品が出荷過多により、同種野菜が売れ残ってしまうという課題もあります。

このような状況や近隣の類似施設営業開始の影響が原因で、売上も下降の一途をたどっていました。近年では、現任の地域おこし協力隊員の努力の成果もあり向上の兆しが見えてきた状況ですが、ピーク時の売上よりも減少しており、自立運営のためには更なる改善が必要です。この課題を打開するために、新しい取り組みをはじめることになり、店長を新たに募集する運びとなりました。

### 【特産物センターの現状】

- ・運 営 赤村特産物センター運営協議会
- ・代 表 道 壽子さん
- ・営業時間 8:30～18:00 年中無休(年末年始休み)
- ・スタッフ 8人
- ・年間売上規模 約1億6千万円
- ・販売形態 委託販売(特産物センター運営協議会は手数料収入により運営)

## <店長とともに取り組みたいこと>

新たに迎え入れる”店長”とともに取り組みたいことは、品薄状態等を打開するために、新規就農者の方々や高齢者の方でも、農作物を出荷していただけるような環境づくり、出荷調整の仕組みづくり、<sup>はざかいき</sup>端境期対策等です。

例えば、商品数確保としては、車の運転が難しい高齢者に代わって作物を集荷したり、出荷数、手間の問題から今まで出荷に至らなかった農業者の農産物を掘り起こすなどの取り組みが考えられます。

また、出荷調整、端境期対策としては、農業者とのコミュニケーション、設備の見直し等により商品数の平準化するなどの取り組みが考えられます。他にもできるプロセスは色々あると思います。

特産物センターは、地域の農業、コミュニティを支える要でもあります。新たなアイデアに挑戦していくためには、何より農業者の皆さんの理解や地域との信頼関係が欠かせません。スタッフと協力しながら一緒に考え、忍耐強く一緒に動いていくことになります。

目指すのは、村民の笑顔。そのためには村内の農業者のニーズにも、お客様のニーズにも応えられる体制をつくり、ひいては自立運営していただくだけの売上をつくっていく必要があります。

#### 【目指したいこと】

- ・ 来客数、売上のアップによる施設運営の継続
- ・ 自立的な運営
- ・ 農業者の所得向上

#### 【取り組みたい挑戦】

- ・ 高齢の方でも出荷できる仕組みづくり
- ・ 村内の買い物客のニーズに合わせた商品仕入れ検討
- ・ 商品数の平準化できる仕組みづくり

#### 【日々の業務】

上記取り組みと同時に、出荷サポート、集荷、販売管理、運営会議、売上管理、シフト管理など、日々の運営にかかる業務も行っていただきます。

< 1日の流れ(開店作業重視時の例) >

- 午前** 7:00 出勤 →農業者の品出しをサポート、商品確認と陳列作業。  
※出品者さんとのコミュニケーションも重要！
- 8:30 開店。店内状況確認。
- 9:00 報告書、企画案作成など書類作成。
- 10:00 集荷作業のために軽自動車（ボックスワゴン）で、村内の農業者を回る。  
※新たな農産物の掘り起こしも忘れずに！
- 11:30 店舗に戻ってお客様対応。
- 12:00 昼食
- 午後** 13:00 施設管理、企画案作成、イベント出店の検討、シフト調整、仕入れ品検討など。  
※SNS等での情報発信も忘れずに！
- 15:00 帰宅 →家庭菜園や趣味の時間など、有効に使えます。

< 1日の流れ(閉店作業重視時の例) >

- 午前** 10:00 出勤。集荷作業のために軽自動車（ボックスワゴン）で、村内の農業者を回る。  
※新たな農産物の掘り起こしも忘れずに！

11:30	店舗に戻ってお客様対応。
12:00	昼食
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">午後</span> 13:00	施設管理、企画案作成、イベント出店の検討、シフト調整、仕入れ品検討など。 ※SNS等での情報発信も忘れずに！
14:00	運営協議会会議
16:00	村との協議
18:00	閉店作業

< 1週間の流れ(例) > ※勤務形態はシフト勤務となります。

月曜日	閉店作業重視勤務
火曜日	休み
水曜日	休み
木曜日	開店作業重視勤務
金曜日	閉店作業重視勤務
土曜日	開店作業重視勤務
日曜日	開店作業重視勤務

その他、運営協議会の会議、村との打ち合わせ、村外への出張出店、営業活動なども業務に含まれます。

#### <こんな方におすすめ>

- ・スーパーマーケットや道の駅、直売所など小売店での販売業務の経験がある方
  - ・企業や団体にマネジメント経験を生かしたい方
  - ・農業者と関わりながら、地域密着で農業を支える仕事に興味がある方
  - ・新しい人と接することに抵抗がなく、コミュニケーションを楽しめる方
  - ・セカンドキャリアとして地域貢献に力を注ぎたい方
- いずれかに当てはまる方、ぜひお問い合わせ・ご応募をお待ちしています。

#### <必須スキル>

- ・運転免許があること
- ・経理及び経営ができること（税務申告のための最低限の帳簿作成等はスタッフが行えます。）
- ・農業者とのコミュニケーションが円滑に取れること
- ・パソコンで企画案、報告書などの書類作成ができること
- ・インターネット、SNS等での情報発信ができること

## <赤村の紹介>

赤村は、英彦山を水源に持つ今川をはじめ、多くの清流が流れる緑豊かな村です。市町村合併に頼らず、130年以上も村であり続ける、小さくても豊かな自立経営を志してきました。

また、県内で唯一「有機農業推進モデルタウン」の指定を受け、環境配慮型の農業に力を入れているほか、34年の歴史を持ち近隣の都市農村交流事業の先駆けとなった体験型農業イベント「DO YOU 農?」、じーちゃんがつくる新鮮な朝どれ野菜や、元気なかーちゃんがつくる弁当・惣菜が並ぶ「赤村特産物センター」など、多くの村民に支えられて、さらに多くの村外ファンを持つ村です。

今回募集する赤村特産物センターのほかにも、設立から30年を迎える「源じいの森」があります。村内唯一の宿泊施設で、和洋両タイプの宿泊・研修・キャンプ施設をはじめ、陶芸等が体験できる施設もあります。

また、「源じいの森温泉」は竹林に囲まれて、露天風呂やサウナ、家族風呂、休憩室の大広間などがあり、1日中ゆっくりと体を癒すことができる施設です。

そのような中、コロナ禍にもかかわらず全国のキャンプブームが、大きな盛り上がりを見せています。私たちの「源じいの森 キャンプ場」にもこの夏、多くのキャンパーがおとずれてくださいました。「これだけ多くの方が、アウトドアを楽しむ時代に、もっと多くの人に利用してもらい、村の自然を満喫していただき、それによって、村をPRし盛り上げていきたい」というのが、私たちの思いであり、現在「キャンプライフ・コーディネーター」という新しい女性3名の地域おこし協力隊も着任し活躍しています。

また、令和3年5月からは、全国初として「地域プロジェクトマネージャー」公募に踏み切り赤村の一大複合宿泊施設「源じいの森」にこの総支配人ともいえるべき、企画開発と運営の両方をマネジメントできる人材を全国に先駆けて公募しました。

現在は、古いやり方を見直し、新しいビジョンやシステムを考えていくために、たくさんのお話し合いがもたれ、人材の入れ替わりも進み、まもなく改革の前半戦が終了するタイミングまでできていると考えています。

## <最後に>

赤村は里山の小さな村です。特産物センターは村の住民や出荷者が、協議会をつくり運営してきたため、民間企業ほどの十分な運営体制とは言えないかもしれませんが、それでも、これまで地域の方々やかーちゃんたちの温かい女性パワーでさまざまな先駆的な事例を生み出し、工夫をして精一杯盛り立ててきました。これからは、「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」をしっかりと見極め、経営していきたいと思っています。

今までの良さを継承しながら、新しい取り組みを実行するため、あなたの力をかしてください。そのために、一緒に汗を流してくださる方のご応募をぜひお待ちしております。

## <募集要項>

■雇用関係の有無 あり

### ■業務概要

福岡県赤村の会計年度任用職員として任用し、赤村特産物センター店長業務を行います。

#### 【店長を中心として新たに取り組みたいこと】

- ・高齢者でも出荷できる仕組みづくり
- ・朝の出荷時の農業者同士のコミュニティづくり
- ・村内の買い物客のニーズに合わせた商品仕入れ検討
- ・商品数の平準化できる仕組みづくり
- ・栽培履歴に関する意識改革
- ・インターネット、SNS等を通じた情報発信

#### 【基本的業務】

- ・上記取り組みと同時に、出荷サポート、集荷、販売管理、運営会議、売上管理、シフト管理など、日々の運営にかかる業務も行っていただきます。

### ■募集対象

- ・本募集要項を理解し特産物センターの運営を通して赤村の地域貢献に意欲のある方
- ・年齢 問いません（40代～60代歓迎）
- ・性別 問いません
- ・住所要件 地域おこし協力隊の地域要件を満たしていること（追記）

### <必須スキル>

- ・運転免許があること
- ・経理及び経営ができること（税務申告のための最低限の帳簿作成等はスタッフが行えます。）
- ・農業者さんとのコミュニケーションが円滑に取れること
- ・パソコンで企画案、報告書などの書類作成ができること
- ・インターネット、SNS等での情報発信ができること

■募集人数 1名

■勤務地 赤村役場 産業建設課に在籍し福岡県赤村特産物センターでの出向勤務となります。商品数確保に向けて店舗責任者として、農業者等とのコミュニケーションを深めるため、店を出て村内外で仕事をさせていただくこともあります。

■勤務日数等 勤務日数 週5日（勤務日数は毎月21日程度）  
勤務時間 1日 6時間45分（7時～18時の間の勤務）  
勤務日及び勤務時間は平日日数、シフト状況等によって変更があります。  
農業者の出荷受入業務もあるため、早朝からの勤務もあることをご理解ください。  
時間外や勤務日以外に勤務が生じた場合は、代休対応となります。

■雇用形態 会年度任用職員パートタイム（地域おこし協力隊）として村長が任命します。  
雇用期間は委嘱の日から令和4年3月31日までとし、最長で3年間延長  
（1年ごとの更新）  
勤務開始は、令和3年12月～令和4年1月の間を予定（応相談）  
業務に支障のない範囲で、兼業副業も可能です。（届出審査あり）

■給 与 月額25万円～30万円  
総額300万円～360万円程度  
別途、引越し等の着任にかかる経費を手当します。（20万円上限）

■福利厚生

- ・健康保険、厚生年金、雇用保険に加入します。
- ・住宅は村で適切な物件を用意し、家賃は村が負担します。（活動経費）
- ・業務に必要な車両は村が用意します。（活動経費）
- ・パソコン等の活動に必要な機材は村で準備します。（活動経費）
- ・年次有給休暇は年間10日以内、その他特別休暇等は赤村会計年度任用職員の規定に従うものとします。
- ・業務に関連する起業や個人事業主、就農を赤村でする場合は、地域おこし協力隊起業補助金の対象となります。上限100万円です。（内容の審査があります）

■申込受付期間 令和3年11月15日（月）まで

■審査方法 ○応募申込方法（郵送またはメール可）

- ・履歴書（JIS規格形式、写真添付）
- ・職務経歴書（JIS規格形式）
- ・動機レポート（A4サイズで書式自由）800字程度

■申し込み先

〒824-0432 福岡県田川郡赤村大字内田1188番地  
赤村役場 総務課 地域おこし協力隊公募係  
電話：0947-62-3000（代表） メール：aka-seisaku@vill.aka.lg.jp